特定非営利活動法人マザーハウス 回復 る ロ グ ラ ム

犯罪からの離脱 ~闇から光へ~

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第1日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創できる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

- C. 自分の今を内省し、これまでの自分を悔いる
 - Q1 わたしにとって刑務所とは何か··考えをノート書く
 - Q2 何故、今ここにいるか··自分は何をしたのか··簡単に見つめ、書きとめる。
 - Q3 自分の身近な人(親、兄弟、妻、子供たち)に言いたいこと、伝えたいことは何か ・頭に浮かぶ一人一人にむけて・・ノートに書いて見る
 - Q4. 彼らから どんな言葉が帰ってきそうか··予想してノートに書く
 - Q5. 彼らから 頂きたい言葉は何か··ノートに書く

Q6. わたしが彼らに期待していることは何か…ノートに書いて見て下さい

結び: ①静かに心を整える。深呼吸をする…吸う息、吐く息に注意を向ける

②命の三原理:「生きている」「生かされている」「つながっている」ことを思う。

③大いなる力が共に居て下さったことを感謝しながら、内省の時間を終わる。

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第2日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創できる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・・呼吸を整える・・・1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

- C. 自分の在るべき姿・理想的姿(目標)を描き出す··ノートに書く
 - Q1. わたしの理想は、自分がどのような人になることか · · ノートに書く
 - Q2. わたしの理想は、他者との関わりがどうあることか · · ノートに書く
 - Q3. わたしの理想は、社会の中でどのようにあることか · · ノートに書く 社会の中でどのような仕事をすることか · · ノートに書く 社会の中でどのような面で役立ちたいか · · ノートに書く
 - Q4. わたしの理想は、どのような家庭を築くことか · ・ ノートに書く

夫(妻)に対してどのような関わりを持ちたいか · ノートに書く 自分の子供がどのようにあることか · ノートに書く

Q5. わたしの理想は、この刑務所で(この受刑中に)何を体得することか ・・・ ノートに書く

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第3日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

- C. 今の自分を見つめ、自分を知る
 - Q1. 自分の健康状態はどうか…自分の健康についてノートに記述する。
 - Q2. 自分がやってみたいことは?…その実現能力はあるか… 持たないならどう体得するか…ノートに記述する
 - Q3. 自分の考え方、自分の価値観(行動の原理)は何か··ノートに記述する
 - 何を基準にして行動するか
 - ・行動する時、何を優先して考えるか。
 - Q4. 自分の癖、性格、弱点、長所、感情·心情の起伏(心模様)について··ノートに記述

- Q5. 自分は他者との「立ち位置」をどのように留意しながら取っているか
 - 自分には関わりの力があると思うか
 - 自分にとって相性の善い人とはどのような人か…相性の悪い人は…

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第4日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しに ならない。」

- C. 自分の経験を振り返り、自分を知る··段階的に··時代別に
 - 以下のことを見つめる…5歳まで、10歳まで、15歳まで、20歳まで
 - Q1. それぞれの年代で「いちばん楽しかったこと」は何か・・ノートに書く

O-5歳までで…

5-10 歳までで…

11-15 歳までで…

16-20 歳までで…

それ以後、今まで

Q2. それぞれの年代で「いちばん苦しく、辛く、悲しかったこと、傷ついたこと」は何か……ノートに書く

- O-5歳までで・・ 5-10 歳までで・・ 11-15 歳までで・・ 16-20 歳までで・・ それ以後今まで
 - Q3. それぞれの年代で「親から頂いた、受けたもの」は何か・・ノートの書く・善いこと・・肯定された・・いただいたこと、愛されたこと一人の個人(人間)として認めてくれた自分でものごとを考え、判断し、決断し、自由に実行できたか
 - ・悪いこと…否定されたこと…受けた批判、避難、無視、怠惰、無関心… 相手にされなかったこと…認められなかったこと… あるいは虐待された…言葉で、行為で…

殴られ、たばこをねじりつけられ、軽蔑され罵倒され、無視されたなど・・ 何をするにも、親の許可、が必要、親の干渉があったか・・自立心の形成の妨げ

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第5日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。」

- C. 自分と親の関係を見つめる
 - *自分が親から受けてきたこと…前回の内容…簡単に振り返る
 - •「受けたもの」を時代別に確認する…

O-5歳までで…

5-10 歳までで…

11-15 歳までで…

16-20 歳までで…

それ以後、今まで

Q1. 親から受けたもので、新しく気づいたものがあるか··ノートに書く

Q2. 自分が親(大切な人)に与えてきた(善いこと) は何か・・ノートに書く

O-5歳までで・・ 5-10 歳までで・・ 11-15 歳までで・・ 16-20 歳までで・・ それ以後、今まで

Q3. わたしが、親(大切な人)に十分に与えなかった善いことは何か ··ノートに書く

O-5歳までで・・ 5-10 歳までで・・ 11-15 歳までで・・ 16-20 歳までで・・ それ以後、今まで

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第6日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。」

- C. 今の自分を《悔い改める決意》を新たにする··悔い改めの力はどこに··
 - Q1. わたしは悔い改め、自分を変える力を持っているか
- ・次の聖書の言葉、詩編の言葉をゆっくり読み、<u>心に感じたことをノートに書いてみ</u>て下さい。
 - キリストは命の力を下さる: ヨハネ 10.7-17 イエスはまた言われた。「はっきり言っておく。わたしは羊の門である。 わたしより前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。

<u>わたしは門である。わたしを通って入る者は救われる</u>。その人は、門を出入りして牧草を見つける。

盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。 わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。 わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。

1羊飼いでなく、自分の羊を持たない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる。——狼は羊を奪い、また追い散らす。——

彼は雇い人で、羊のことを心にかけていないからである。

わたしは良い羊飼いである。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。

それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。わたしは羊のために命を捨てる。

わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。

わたしは命を、再び受けるために、捨てる。それゆえ、父はわたしを愛してく ださる。

・ローマ 5.5…苦難→忍耐→練達→希望を生む

このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主 イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、

このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。

そればかりでなく、苦難をも誇りとします。<u>わたしたちは知っているのです、</u> 苦難は忍耐を、

忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

希望はわたしたちを欺くことがありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

実に<u>キリストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な</u> 者のために死んでくださった。

正しい人のために死ぬ者はほとんどいません。善い人のために命を惜しまない 者ならいるかもしれません。

しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために 死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。 それで今や、わたしたちはキリストの血によって義とされたのですから、キリ ストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。

敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。

それだけでなく、わたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちは神を誇りとしています。今やこのキリストを通して和解させていただいたからです。

□-マ:12.2

あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を**変えて**いただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。

フィリピ3.21·・キリストは変えて下さる。

キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に**変えて**くださるのです。

・詩編51.砕かれた心を神は見捨てない

神よ、わたしを憐れんでください/御慈しみをもって。深い御憐れみをもって /背きの罪をぬぐってください。

わたしの咎をことごとく洗い/罪から清めてください。

あなたに背いたことをわたしは知っています。わたしの罪は常にわたしの前に 置かれています。

あなたに、あなたのみにわたしは罪を犯し/御目に悪事と見られることをしました。あなたの言われることは正しく/あなたの裁きに誤りはありません。

わたしは咎のうちに産み落とされ/母がわたしを身ごもったときも/わたしは 罪のうちにあったのです。

あなたは秘儀ではなくまことを望み/秘術を排して知恵を悟らせてくださいます。

ヒソプの枝でわたしの罪を払ってください/わたしが清くなるように。わたし を洗ってください/雪よりも白くなるように。

喜び祝う声を聞かせてください/あなたによって砕かれたこの骨が喜び躍るように。

わたしの罪に御顔を向けず/咎をことごとくぬぐってください。

神よ、わたしの内に清い心を創造し/新しく確かな霊を授けてください。 御前からわたしを退けず/あなたの聖なる霊を取り上げないでください。 御救いの喜びを再びわたしに味わわせ/自由の霊によって支えてください。 わたしけあなたの道を教えます/あなたに悲いている者に/罪人が御もとに

わたしはあなたの道を教えます/あなたに背いている者に/罪人が御もとに立 ち帰るように。

神よ、わたしの救いの神よ/流血の災いからわたしを救い出してください。恵みの御業をこの舌は喜び歌います。

主よ、わたしの唇を開いてください/この口はあなたの賛美を歌います。

もしいけにえがあなたに喜ばれ/焼き尽くす献げ物が御旨にかなうのなら/わたしはそれをささげます。

しかし、神の求めるいけにえは打ち砕かれた霊。打ち砕かれ悔いる心を/神 よ、あなたは侮られません。

御旨のままにシオンを恵み/エルサレムの城壁を築いてください。

そのときには、正しいいけにえも/焼き尽くす完全な献げ物も、あなたに喜ばれ/そのときには、あなたの祭壇に/雄牛がささげられるでしょう。

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第7日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、御名が崇められますように。

御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の上にも。 わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

- C. 今の自分を《悔い改める決意》を新たにするために…悔い改めに関しての感情
- Q1.「悔い改め」という言葉を聞いて何を感じますか····ノートに書く
- Q2.「悔い改め」に関して、自分の中に矛盾感情がありますか・・ノートに書く 予盾感情とは・・悔い改めたいという心情と悔い改めたくないという心情
- Q3.「悔い改めに」に関して、矛盾感情の原因は何ですか··ノートに書く
- Q4. その矛盾感情をどのように克服したらよいでしょうか··ノートに書く

Q5. 今の自分が「悔い改める」ために何が必要だと思いますか··ノートに書く

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第8日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

- C. 今の自分を「悔い改める」ために
- Q1. 今の状態は普通ではない状態です。では異常な今の状態はどんな状態ですか…ノートに書く
- Q2. 普通の状態とはどんな状態ですか…あなたが望む状態とは…出所、就職、結婚、家庭、社会貢献
- Q3. 悔い改めのために必要とされる新しい生き方、考え方、価値観とはどのようなものですか。

Q4. 悔い改めに必要な力は何だと思いますか

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第9日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しに ならない。」

- C. 社会に出ることを想像し、準備する
- Q1. 社会にでることを考える時、生じる不安は何ですか
 - 考え得る限りの不安要因を列挙して、ノートに書いて下さい
- Q2. それらの不安をどのように克服できると考えていますか

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム(実践)

第10日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめる この静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、 直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを 素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

- C. 社会に出る前に被害者に対しての思いを整理する
- Q1. 被害者の前に立つ自分を想像し、被害者に何と「声かけ」をしますか・・ノートに書いて下さい。
- Q2. 自分がもし被害者だったら、加害者である「あなた」に何と言いたいでしょうか。
 - ・ 真摯に考えてください。
 - そしてその時の思いをノートに、ひとつひとつ丁寧に書いて見て下さい。
- Q3. 被害者に対して、あなたができること何でしょうか。
 - 心に思い浮かぶことを全て、ノートに書いて見て下さい。

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム(実践)

第11 日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

- C. 社会に出るために、人間力を高め強める
- Q1. 人間とは何なのですか…あなたはどう思いますか…ノートに書いて下さい
 - *人は有限存在である…場所と時代、時間に制限された存在である。
 - その時代、その社会、その家庭環境、状況の中で生まれる
 - ・生まれ→成長→成熟→責任を負い→生き甲斐を持つ→病み→老い→死ぬ
 - *人は身体、精神、社会、霊性(宗教)の4次元を生きる存在である。
- Q2. 人が人間らしい者になるために、必要なものは何ですか・・愛情・・それは何ですか・・ ノートに
- *人は受け入れられ、肯定され、認められ、愛され、信頼されることで育つ存在である。

- ・人は愛されたい願望をもち、愛を受けると自分に自信を持ち、他を愛するも のとなる。
- ・人は否定され、無視され、侮辱され、認められない場合、生きる力を失うか心が歪む。
- Q3. 人の存在基盤は何ですか…何を得るために人を働くのですか…ノートに書いて下さい
 - ・物、財産(金・土地・種々の所有物)、仕事、地位、役割、名誉、理想、神仏
- Q4. 人は生きるために使う力は何ですか・・欲望・・それは人を生かしますか、殺しますか・・ ノートに
 - 生きる力の源・・欲・所有・競争・・優劣、差異、対立、批判、拒絶、戦争、死
- Q5.人が人として生きる為の原理は何ですか…命の三原理…「生きている」「生かされる」 「つながる」
- Q6. 人格的な成長と成熟を目指すために、何が必要ですか・・ノートに書いて下さい ・ 人格的癒し・・学び・・成長への意欲
- 結び:静かに心を整える。深呼吸をする:吸う息、吐く息に注意を向ける 命の三原理:「生きている」「生かされている」「つながっている」ことを思う。 大いなる力が共に居て下さったことを感謝しながら、内省の時間を終わる。

闇から光へ、絶望から希望への回復の為のプログラム 実践

第12 日目

目的の確認: これは人間本来の姿を見いだし、社会の中で他の人々と共存、共栄、共創で きる者になるように導く改心と回復のプログラムである。

A. 静かな場所と時間・壁に向かい目を半眼にする・・姿勢を正す・・沈黙・呼吸を整える・・ 1-2分

B. 心の中で祈る

「愛と命の源であるいつくしみ深く大いなる力(である神)よ、わたしが自分を見つめるこの静かな時間を祝福して下さい。あなたが共にいて、わたしと共に歩み、わたしが今、直面している問題点に向き会う勇気と力をお与え下さい。わたしの心に思い浮かぶことを素直に書きしるし、受け止める力が与えられますように。」

キリストが弟子たちに教えた祈り《主の祈り》: マタイ 6.9-15

『天におられるわたしたちの父よ、/御名が崇められますように。 御国が来ますように。御心が行われますように、/天におけるように地の上に も。

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

わたしたちの負い目を赦してください、/わたしたちも自分に負い目のある人を /赦しましたように。

わたしたちを誘惑に遭わせず、/悪い者から救ってください。』

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。」

- C. 社会に出るために、社会的感覚になれる
- Q1. 社会に生きる人たちの感覚、価値観を知るために、どうしますか・・ノートに書いて下さい
- Q2. 社会に出ても、悪、欲に惑わされないようにするためどうしますか・・ノートに書いて下さい
 - 社会の中でぶれない自分であるために…